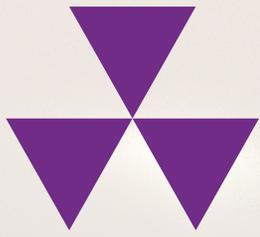


DOSHISHA TOKYOJOURNAL

東京

2016 Winter

No.102



同志社

ジャーナル



**INDEX**

新年ご挨拶 児玉会長・神内春の集い実行委員長

特別協力会員の集い 内藤正典教授特別講演

洛紫会 ADK 植野伸一社長講演会&懇親会

校友会大懇親会・大学ホームカミングデー

片桐家同志社五代記(十五)・連載コラム今出川四季

校友訪問／山の上ホテル 吉川恒男さん

同志社スポーツ  
ラグビーセブズ日本代表松井千士さん

関係諸団体 2015 年活動レポート

新島襄先生生誕の地碑前祭のご案内

「2016 同志社東京春の集い」お知らせ

行事告知

## 新年ご挨拶

会長 児玉正之

校友の皆様、新年明けましておめでとうございます。

昨年はイスラム国（IS）をはじめとした、悲惨なテロや紛争が多発した年でした。今年こそテロや紛争の少ない一年になりますよう祈ります。

はじめに、皆様の東京校友会活動へのご支援・ご協力に感謝申し上げます。

「同志社創立140周年」の節目の年に同志社や新島襄に校友の皆さんのそれぞれ想いを馳せた一年でありましたが、ご承知の通り安中藩江戸上屋敷跡の学士会館に建つ生誕の碑の近くに「錦三・七五三太」公園が誕生し



児玉正之の会長

の迅速な受発信や活用範囲も大幅に拡大致しました。今年には新ホームページを武器に致したく、様々な活用方法を皆さんと一緒に

銘板が設置されました。

節目の年に華を添える記念すべき出来事でした。

機関誌「東京ジャーナル」も100号に到達し、保存版「創刊100号突破記念特大号」が発行されました。

またその編集過程で校友会規約改正で東京支部が1897年（明治30年）に発足したことが明らかになり、2017年には東京校友会は「120周年」の記念すべき年を迎えることとなります。

懸案事項でありましたホームページも一新し、従来に比し大幅な機能強化が実現出来、情報

に検討して参りたく思っております。

今年も従来以上に大学・校友会本部・関東甲信ブロックの各支部との連携強化を通じて、校友間の交流の活発化と充実、若い校友が参加出来るイベントの実施、またこれらを通じて、「良心教育」を発信し、関東での同志社の「プレゼンス」を高める活動に注力を致します。

昨年スタートした懇親ゴルフ大会等、校友が「群れる」機会をタイムリーに、一つでも多く企画を提供し、皆さんの「輪」と「絆」が広がる年にチャレンジして参ります。

改めて「志を同じくするものが集まって創る結社」「良心を手腕に運用する人物」「変革を自ら実行する人物の育成」等これらを胸に、今年も先ず群れることから始めましょう。

同志社の更なる発展、中期目標「ビジョン2025」の着実な達成と、校友の皆さんの活躍とご健勝を祈念申し上げます。今年の干支は申です。意志が強く、賢く、器用、好奇心旺盛、素早い行動等が猿の特徴ですが、その一つでも二つでも実践したものです。

## オール同志社「2016春の集い」

実行委員長 神内一憲

校友の皆様におかれましては清々しい新年をお迎えの事とお慶び申し上げます。

昨年は国内では台風・水害、海外では大規模な国際的テロなど、不幸な災害・事件が相次ぎました。犠牲になられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。

同志社に目を転じますと、昨年は創立140周年で地元関東甲信ブロックでは、群馬県安中市で「同志社フェアin安中」が催されました。また今年に入って、京都で新作能「庭上梅」の上演、熊本バンドを唄んで「同志社フェアin熊本」へと催事が続きます。

そして、いよいよ、5月15日（日）に第18回「東京校友会春の集い」が開催されます。今年も、昭和47・57年卒、平成4・14年卒のメンバーを中心に、東京校友会の常任幹事の皆様のお力もお借りして実行委員会を形成しました。



神内一憲 実行委員長（昭和47年商学部）

テーマは「オール同志社」です。求心力を重視しました。ゲストには、国際金融都市東京らしく、経済小説の分野で独自の境地を開かれた真山仁氏をお呼びします。氏は、NHKでドラマ化された「ハゲタカ」シリーズが有名で、今も週刊ダイヤモンドにて、シリーズ第5弾「シンドローム」を連載中です。世代間で先輩の経験を聞いたり、同世代で互いの情報を交換したり、皆さんが能動的になつて下さい。昨年始まった大名刺交換会は今年もやりま。新たな発見を目指して、ぜひご参加いただきます様お願い申し上げます。実行委員一同、心よりお待ちしております。

# 特別協力会員の集い

11月4日（水）、新島襄生誕の地である神田錦町の学士会館において、「2015年特別協力会員の集い」が開催され、72名が参加しました。

第一部は、児玉正之東京校友会会長の開会挨拶、長谷川正治校友会副会長のご挨拶に続き、同志社大学グローバル・スタディーズ研究科の内藤正典教授による特別講演「中東崩壊とイスラムの過激化」が行われました。

第二部は、児玉会長から村田晃嗣学長への「同志社大学東日本大震災被災学生支援募金」の目録贈呈でスタートしました。

次に村田学長から、「今年同志社創立140周年、あと10年で150周年となります。校友の皆様には、母校とのつながりをますます強めていただきました。



内藤正典 教授



児玉会長から村田学長へ募金目録贈呈

い」とのご挨拶があり、村田学長の乾杯のご発声で懇親会へと移りました。

特別協力会員の1分間スピーチでは学生時代に夢中になったこと、同志社を卒業して良かったことを全員にお話いただきました。その後も賑やかな歓談・交流があり、最後に金屋憲二郎東京校友会副会長のリードによるカレッジソング斉唱、同志社チャアーでお開きとなりました。なお、特別協力会員（年会費2万円）は、今年度これまでに25名の新規入会があり、既存会員と合わせて162名となっています。

文責／新田博伸(昭52年・法)

## 特別講演 中東崩壊とイスラムの過激化

グローバル・スタディーズ研究科教授 内藤正典

特別講演「中東崩壊とイスラムの過激化」がグローバル・スタディーズ研究科 内藤正典教授により行われました。まさに、EU内での難民受け入れがタイムリーなニュースとして注目を集める中での講演となり、興味深いテーマとなりました。

講演は次のような展開で行われました。

### ① 崩壊に向かう中東の秩序

シリア内戦から「イスラム国」の台頭、リビア内戦、イエメン、イスラエル・パレスチナの衝突、エジプトの不安定化、チュニジアのテロ、ナイジェリアのボコ・ハラムの暴力について解説。

### ② 「イスラム国」とは何か

イスラム法による統治であり、主権は唯一絶対神アッラーの手にあり、政治をする必要はないが、実際は無慈悲で暴力的である。イスラム世界で類例を見ない「病理」であり、その治療法は外科療法的な軍事力では無理である。

### ③ 「イスラム国」はなぜ生まれただか

ムスリム（イスラム教徒）世界の腐敗と墮落により、正しくイスラムを実践する国がないことや欧米の戦争による犠牲が背景にあり、イラク戦争により国家が空中分解したことが原因に挙げられる。

### ④ シリアについて

内戦とイスラム国の両方に襲われたことにより、アサド政権にロシア・イランが、反政府側に米国・トルコ・サウジアラビア・カタールがついた。ロシアの「テロとの戦い」表明により本格参戦となり、アサド政権側も「イスラム国」を攻撃した。

### ⑤ 難民の奔流

現在難民の数は450万人、シリアの国内難民800万

人。EU諸国は難民の受け入れで大混乱。圧倒的多数の難民が受け入れを表明したドイツを指す事態になっているが、その多くがムスリムであることから、諸国の排外主義、反イスラム主義が高揚し混乱を招いている。以上のテーマをアラブにお住まいの現地からの視点でわかりやすく講演いただきました。

文責／作村満明(昭52年・法) 写真／新田博伸(昭52年・法)



**【洛紫会】11月20日(金)開催**  
**今年の最後はアサツデー・ケイ**  
**植野伸一社長の講演会&懇親会**

大手広告代理店 アサツデー・ケイの代表取締役 植野伸一社長は同志社大学商学部昭和51年の卒業生です。洛紫会で久しぶりに社長の講演が実現し、会場の東京オフィスには90名以上が集合しました。京都からは広告業界に就職予定の4年生2名が特別参加。

講演では、広告業界が直面している環境変化に対応し「コンシューマー・アクティベーション・カンパニー」を目指すADKの方向性がわかりやすく語られました。競合他社の卒業生からも質問が出る様子は、まさに卒業生の会合ならではの光景です。懇親会では、参加者全員が仕事を離れて交流を深めました。「初めて会う人だけでなく同窓生というだけで自然に親しく話ができ、東京でこんなにリラックスできる関係はうれしいですね」との感想も。開催の実現と運営にご尽力くださった幹事の皆様にお礼を申し上げます。  
 文責／安永昌代(昭56年・経)



昭和51年商学部卒 ADK 植野伸一社長



**IC・電子部品の調達から技術まで一括サポート致します!**

明光電子一社で全ての部品がそろい、技術サポート、製造、検査までのプロセスを「早く」「広く」「深く」をキーワードに実践できる、電子の統合サービスが明光電子の強みです。

早いレスポンス — 「情報」と「モノ」を素早く正確に提供  
 広いネットワーク — 業界に広く通じているから何でも揃う  
 深いサポート — 確かな信頼があるからこそできる協力体制

**早く** EARLY  
**広く** BROAD  
**深く** DEEP

**明光電子 株式会社**

神奈川県横浜市港北区新横浜 3-18-9 新横浜ICビル  
 FAX: 045-471-2377  
 E-mail: info@meicodenshi.com

**045-471-2223**

明光電子 | 検索

代表取締役 **十川 正明**  
 (昭和48年 機械工学科卒業 合気道部)

# 校友会大懇親会

## 能楽金剛流宗家が記念講演

平成27年11月7日(土) 同志社創立140周年記念講演会が京都国際会館にて、懇親会がグランドプリンスホテルにて開催されました。まず井上礼之校友会会長が「校友会は創立150周年に向け、伝統を未来に伝えるために大学を支援していきま



井上礼之 校友会会長の挨拶

す」と力強く開会宣言。次に、大谷総長より「ここ3、4年は皆様からの多大なるご支援を心強く感じています」と挨拶がありました。

記念講演は同志社大学文学部、昭和49年卒業の能楽金剛流宗家、金剛永謹さん。舞台には豪華な能の装束3着が飾られ、題目の「同志社の伝統と絆、能を通して」にふさわしい豪華さで、冒頭にはご子息の金剛龍謹さん



金剛流宗家 金剛永謹さん

大懇親会は水谷理事長のご祈禱から始まり、村田学長からは「150周年に向けて学生、教職員、校友会のオール同志社で進んで行こう」と挨拶があり、同志社女子大加賀学長のご発声で乾杯。応援団やチャイリダーも舞台上上がり、賑やかな楽しい懇親会でした。豊原校友会副会長の閉会の辞の後に、全員でカレッジソングを歌い閉会いたしました。

# 大学ホームカミングデー

## 栄光館で開会式

大懇親会の翌日は今出川キャンパスにてホームカミングデーの開催という運び。栄光館での開会式は讚美歌斉唱に始まり、参加者を一気に懐かしい学生時代へ引き戻してくれました。

聖書朗読ならびに祈禱は、石川立同志社大学キリスト教文化センター所長。続いてグリーンクラブOBによる「寒梅詩」の合唱がありました。

大谷総長の「ようこそおいで下さいました。皆様が新島の建学の精神を受け継ぎ、良心をもとにご活躍いただいていることにエールを送ります」という歓迎の言葉のあと、村田学長から「150周年に向けて何をなすべきか、ビジョン2025を作成しました。10年後その中でできたこと、できなかったことを話しながら皆様と集えることを願っています」との挨拶が続きました。

中村友一校友会副会長は終戦直後の芋畑の中での創立70周年の話をされたあと「今では校友

会も国内支部48、海外支部26、卒業生30万人、同志社とともに進んでいく所存です」と力強くスピーチ。

玉村三保子同窓会会長はスクールカラー紫のお着物で登壇され「ようこそ、お帰りなさい。今年は建学140周年、良心を手腕に運用せよと言われた新島先生の精神を思いながら今出川キャンパスを歩いてみましょう」と挨拶。その後、全員でカレッジソングを歌い、水谷理事長の祝祷を受け、大集合写真を撮り終えて、今出川キャンパスへ向かいました。

文責／作村満明(昭52年・法)  
写真／新田博伸(昭52年・法)



開会式後栄光館での大集合写真

# DHC 通販化粧品・健康食品売上 No.1

DHCが開発した『薬用Qシリーズ』は、薬用成分と10倍濃度<sup>※2</sup>のコエンザイムQ10を配合したスキンケア。多くの肌に愛されて、売上個数1600万個<sup>※3</sup>を突破しました。これからもDHCは、日本最大級の通販化粧品・健康食品企業として、お客様が美しく輝く毎日を応援いたします。

株式会社DHC  
〒106-8571 東京都港区南麻布2-7-1 代表取締役会長兼CEO 吉田嘉明(昭和40年 文学部英文科卒)



日本初 DHCだからこそ実現できた  
薬用成分+  
10倍濃度の<sup>※2</sup>  
コエンザイムQ10

■薬用QはDHCの登録商標です。 ※1 2015年1月1日 日本流通産業新聞 通販・通販・EC売上高ランキング  
※2 当社比 ※3 2010年1月14日~2014年11月末日までのシリーズ総販売個数 ※4 医薬部外品として

<http://www.dhc.co.jp>

連載企画

# 片桐家同志社五代記

その十五

きよ江の亡き後、昭和19年祖父の卓は外務省大臣官房電信課に勤務するが、その年の8月外務省を退官し、大東亜省（現外務省）事務の嘱託となる。

昭和20年8月大東亜省を退官し、京都に居を移し、同志社外事専門学校中国語講師として余生を送ることになるが、翌年の2月病魔に襲われ子女に見守られ闘病生活に入る。

終戦後食料事情も良くなかったこともあるが、卓はやみの食料を口にするのを拒み、5月19日昇天する。享年61歳。

丁度その時、我が家族は中国から引き上げ船で日本を目指していたが、やつのことで京都にたどり着いた時、卓の姿は相国寺の家にはなかった。私の父の昌は昭和20年4月に中国の江西省九江で生まれた私を早く見せたい思いで帰宅したが、一足



片桐 哲 中学部卒業時

遅くがっかりしたようだ。

さて片桐家の二代目にはもう一人紹介したい人物が居る。

それは次男の哲である。明治21年3月3日生まれであるから卓とは二歳離れているが、学年は一年違いになる。

明治37年3月20日に父清治牧師から仙臺組合教会（現在の仙台北教会）で洗礼を受けている。

明治40年同志社中学部を卒業の後神学部で学び大正2年に卒業したが、同期生に石村清四郎（後の大森めぐみ教会の牧師）、渡瀬主一郎、松原大八、田中金蔵などがいる。

水沢の片桐清治・卓顕彰碑の除幕式の折配られた「片桐清治・哲父子顕彰」の冊子に哲のことは詳しく載っているが、ここでは概略をご紹介しておこう。

哲というと、まずはグリーククラブを皆さんは思い出されると思うが、これは明治44年の終わり頃に哲が中心になって組織されたもので、命名も哲自身である。当時、東寮の寮長であったが、寮生に教えていたのが成長したものである。当時の

クラブ員には、平賀徳造、平田重、原忠男、錦織貞夫などの他に哲の弟、弘（三男）や総（四男）であるが学生時代に逝去）もいた。2年後には会員も50名余りになり、哲が指揮をした。

この頃を知る岩村清四郎さんの話では、哲の声はそんなに良くなかったと清四郎さんの孫の望月初穂さんから聞いた。哲は後に同志社大学音楽部長として活躍している。

大正3年アメリカのバークレーの太平洋神学校に学んだ後、大正4年にハートフォード神学校に入学し、ヘブライ語、アラビア語等を修め、翌年学位を受けた。更に旧約神学を3年研究し、大正9年4月に帰国し、同志社大学神学部教授に就任する。

昭和3年から文学部教授を兼任し、昭和5年から一年間在外研究員としてパレスチナと欧米諸国を視察・研究して旧約聖書考古学を深めて帰国し、昭和6年から文学部長も兼任している。

昭和28年に定年退職したが、その間に梅花学園理事、同志社理事として働き、その後梅花学園長、梅花女子大学学長などを歴任した。

文／片桐 陽（昭42年・工）

## 連載コラム 今出川四季



文／播島幹長（昭33年・経）  
多くの先輩、友人、後輩に恵まれた事が大きい。

良心碑の言葉は、年を経るごとに重く心に刻まれてきたように思う。

大阪からの通学には時間を要した。神戸から石川治君、本田克之君（昭33経卒）が乗車して座席を確保してくれていたのは助けられた。

昨年数年ぶりに同期の六人衆（60年来の友人）と母校キャンパスを散策し良心碑前で記念撮影した。

下宿していた和歌山出身の大橋龍平君、川瀬敬策君は当時米飯券を持っていて食事の時、随分恩恵を蒙った。或る時、大橋君の実家から送ってきた猪肉を焼いて食したが臭いたるや強烈で下宿主から随分叱られた。しかし、美味な記憶は忘れ難いものだった。

川瀬君と真鍋秀夫君は、パチンコに強く常に勝っていたが、女性店員と仲が良かったのではと今でも憶測している。

加藤正夫君は、ダンスが上手

く、彼の手引きで出町の英国婦りの老女先生に入門して手とり足とりして教えを受けたが長続きしなかった。先生のグレーのカーディガンの背が夕方には学生の手垢で黒っぽくなっていたのを懐かしく思い出す。

三回生になるとゼミは黒松教授の工業経済学を志望した。大橋君の他に、巽悟朗君、小口良喜君、西川明大君など、後に活躍する多士済々のメンバーが多く居た。

就職問題が頭をもたげ出した時、大学から日興証券、毎日新聞、三菱造船の三社を紹介され結局、日興に入社試験後、縁あり入社したが、後々縁のある同志社人脈に、非常に助力を頂くことになった。業界初の上場も、その結果である。今でも脈々と続く有難い母校の縁である。



学生時代の播島幹長さん



# 常に真摯であれ ~不思議な縁の中で~

# 校友訪問

(株)山の上ホテル執行役員 吉川恒男さん  
(昭和57年 商学部卒)

昭和57年4月、旭化成入社、食品事業に所属し、営業・企画部門を担当。平成11年8月、食品事業譲渡により日本たばこ産業（JT）に転籍入社。商品開発センター長。平成23年5月、(株)サンジェルマンに出向、代表取締役社長。平成27年5月にJT退社、6月、山の上ホテル入社

昨年6月、実績十分の〈食分野〉から転身された吉川さん。「昨日、56歳になりました」というその物腰は、すでに大ベテランのホテルマンそのものでした。



不思議な縁に導かれて

大阪市天王寺区、環状線の玉造駅前にある「日の出通り商店街」、かつては商店会長も務めた商店の一人息子の「ええしのボン」として、昭和34年11月19日に生まれました。

中学時代に京阪沿線に移り、実家はうどん屋を開業。高校は枚方高校。うどん屋ですが、それほどやりませんから大晦日は年越しそばで大忙し。僕も出前などの手伝いでてんでこまいで、一段落するのはいつも「行く年来る年」のお寺の鐘が鳴る頃。ですから、皆と同じように「紅白歌合戦」を思う存分楽しみたいと願っていました(笑)。結局、うどん屋は父の代までとなりま

したが、後を継がなかった一人息子は就職先で凶らずも「食」分野に関わり、それに長く携わる半生になったのですから、まさに不思議な縁。

同志社については、チャペルを中心としたキャンパスに一目惚れ。そのチャペルを造ったヴォーリスが、現在在職しております。山の上ホテルも造っています。これもまた不思議な縁を得たなと思ったものです。

## 常に真摯であれ

商学部での恩師は「西陣の織物の流通」を研究されていた出石教授。卒論のテーマは「新商品開発戦略」。就活は割とうまくいきまして旭化成へ。ただ、食品事業もやっていると知らなかったなあ、というのが実際のところ(笑)。本社は大阪ですが、工場本拠地の延岡で新人研修を受け、配属されたのが「食品事業」部門の営業・企画担当。職場は東京の霞が関ビルとなりました。

「華の東京で一旗!」という

心意気で東京駅に着いたものの、独身寮のある上福岡は遙か先。駅から寮までの道中に牛舎がありのんびり牛が草を食んでいました(笑)。

職場は霞が関ビルの27階。食品事業の主力は将来有望とされていた「冷凍食品」です。ところがある日、全館停電があり、すわ一大事とばかり、全員でドライアイスを買いに走り、27階まで駆け上がり、また駆け下り、という珍事もありましたね。

冷凍食品の新商品開発、営業といっても早朝5時から各地の市場で売り込み。それが終わるとすぐスーパーへ直行営業、といった泥臭さ。新商品も「和風お弁当惣菜」シリーズのようなヒット作ばかりといたいたいのですが、「カレー入り鯛焼き」のような失敗作ももちろんあります。でも、常に「最終判断は自分自身。常にスタンダードであること」を肝に銘じていました。食品事業の譲渡に伴い旭化成から日本たばこ（JT）に転籍したり、中国製冷凍餃子中毒事

件の当事者になったり、紆余曲折も経験。JTの食品事業の部門であるベーカーリー・チェーン「サンジェルマン」の社長に任命されたときは、また一からの勉強だと覚悟しました。なにしろ、「冷凍から焼きたて」へ、です。うどん屋の息子ですから麺類はドンと来いでも、パン系は初めて。でも、それまでのキャリアや発想を生かし「焼きたてパンの冷凍」を多くの外食ユーザーに供給。事業量も拡大、実績も上がったところで無事退任。

今回、縁あって日本の代表的なクラシックホテルの一つである山の上ホテルの執行役員となりましたが、文豪のホテルといわれる由緒あるたたずまいや、伝統のおもてなしなどを多くの方々に親しんでいただけよう頑張りたいと思っています。

えらそうにすることもなく、卑屈になることもなく「常に真摯であれ」。後半生もこれを motto に邁進していく所存です。

文責／谷村和典（昭和47年・文）

\*

ラグビー部  特集

松井千士  
男子セブンズ日本代表に  
選ばれる

【協力】同志社スポーツアトム編集部



世界を経験して

同志社、そして日本が誇るスピードスター、WTB松井千士。持ち前のルックスと圧倒的なラグビーセンスで世界を魅了した男が心身ともに大きくなって同志社に帰ってきた。

松井の一番の武器は何といっても50メートル5秒8の俊足だ。自慢のスピードを生かしてグラウンド上を疾走し、一気にインゴールへと駆け抜ける。今となつては相手選手の必死のタックルを華麗にかわし、独走して決めるトライが松井の代名詞となりつつある。「スピードだけで考えれば世界のトッププレイヤーとも互角で渡り合っている」。15人制の日本代表合宿やセ



ブンス日本代表を経て、スピードでは負けない確かな自信を掴んだ。また、今季の彼はスピードだけではない。今リーグ、出場が少ないながらも1人2人のタックルでは簡単に倒れない強さが見られ、課題であったフィジカル面でも大きな成長をうかがわせる。技術面のほかにも多くのことを学んだ。「日本代表レベルの選手はオンとオフの切り替えがとにかく早い」。トップレベルの選手と同じトレーニングをし、その集中力とプロ意識に驚かされたという。

また名将・エディー・HCには、コミュニケーション能力を高めることを今後の課題として突き付けられた。「年齢、ポジション関係なく言いたいことをもつと言えるようにしないと」。日本を牽引するトップ選手へとステップアップするために……。多くの課題を一步一步クリアしていきたい。

紺グレ戦士として

代表遠征でなかなかチームに合流できない松井だったが、合流直後の関学戦ではチームが苦戦する中、3トライを決めチームの勝利に大きく貢献した。



「松井がいる安心感がある」(山神監督)、「松井がいる、いないのではかなり違う」(才田主将) 指揮官、そして主将からも絶大な信頼を得ている。世界を相手に鏖(あ)む削り、一回り大きくなった松井の存在は紺グレにとつて計り知れなく大きい。

プレーはもちろん、精神面でもチームに大きな影響を与えている。「代表で得たことを同志社ラグビーに還元していきたい」。そう語る松井の目は強く頼もしい。「少しずつ、着実に伝えていきたい」。世界を経験したもののとして、そして紺グレの核として経験を受け伝え、チームを支えるという大きな使命を今季は担う。

同志社を頂点へ

小学1年生からラグビーを始めてから、ラグビー漬けの日々を送ってきた。松井にとつて「ラグビーの魅力は信頼のできる、濃い仲間ができること」。かけがえない仲間と共に全国の頂へ……。そして長きにわたり東高西低が続く大学ラグビー界。「(関東の大学に) 勝つ自信はある」。その厚くて高い壁を打ち破るのはこの男しかない。桜のジャージから紺グレジャージへと様を変え、松井は勝負の時を待つ。

文責／山崎和泉(社会・二年)



# 東京校友会 関係諸団体の 2015 年活動レポート

団体名	イベント名、日時、会場、参加者数、講演者、講演テーマなど
神奈川県支部	【同志社神奈川の集い】(校友会、同窓会合同) 11月22日(日)14:00～ 崎陽軒本店 130名 講演:学校法人同志社 大谷 實 総長「刑事法に関わる今日の問題」 インタビュー:「人間 大谷総長と同志社を語る」 ミニミニライブ:シンガーソングライター 伊藤 誠 氏(昭51年商卒)
千葉県支部	【総会・懇親会】 ※来年度より総会・懇親会は6月頃に開催の予定 10月3日(土)14:00～ ホテルプラザ菜の花 60名 特別講演:同志社大学社会学部 佐伯順子 教授 「明治・大正期のメディアが伝えた働く女性—ハンサムウーマンの系譜」
埼玉県支部	【総会・懇親会】 10月17日(土)13:00～ ラフレさいたま 50名 講演:ノンフィクション作家 保阪正康 氏(昭38年文卒) 「戦後70年、同志社の視点で考える」
群馬県支部	【総会・懇親会・同志社フェア in 安中】 8月30日(日)11:00～ 地域交流イベント:新島学園礼拝堂 約700名 講演:同志社大学 村田晃嗣 学長 「バック・トゥ・ザ・フューチャー2015」 交流レセプション:17:30～ 並木苑 約270名
栃木県支部	【総会・懇親会】 6月6日(土)13:30～ 栃木県総合文化センター 一般市民向け講演:「同志社フォーラム2015」 110名 同志社大学大学院 浜 矩子 教授「地球の時代は地域の時代」 ～グローバル時代のローカルな生き方～
茨城県支部	【総会・懇親会】 10月24日(土)13:00～ ホテルマロード筑波 33名 予定されていた講演会は、講演予定者が急病のため中止
山梨県支部	【総会・懇親会】 12月5日(土)13:00～ 甲府・ホテル談露館 約200名 同志社創立140周年記念講演:同志社大学大学院 浜 矩子 教授 「国境なき今を我々はどう生きるか」～地球の時代は地域の時代～
長野県支部	【総会・懇親会】 12月6日(日)11:00～ 松本市・ホテルブエナビスタ 69名 講演:学校法人同志社 大谷 實 総長「同志社の今」
同窓会東京支部	【総会・懇親会】 5月20日(水)11:30～ 青山ダイヤモンドホール 55名 講演:同志社大学 村田晃嗣 学長「2025年の同志社教育」
樹徳会東京支部	【総会・懇親会】 11月22日(日)11:30～ ホテルグランドパレス 約120名 講演:同志社大学 村田晃嗣 学長「グローバル・トレンドを語る」
同経会東京支部	【東京のつどい】 11月10日(火)18:30～ プレスセンターホール 70名 講演:キヤノングローバル戦略研究所理事長 福井俊彦 氏 「わが国にとって、もう待ったなしの基本問題とは」
政法会東京支部	【総会・懇親会】 9月9日(水)18:00～ 同志社大学 東京オフィス 30名 記念講演:弁護士 結城大輔 氏 「民法改正で、暮らしとビジネスはどう変わるか」
スポーツユニオン関東支部	【総会・懇親会】 10月25日(日)11:00～ 学士会館 180名 基調講演:レスリング部 三村和人 ヘッドコーチ 「五輪選手も育てた名指導者が同志社スポーツについて語る！」



# 「2016同志社東京春の集い」お知らせ

今年の5月15日は「オール同志社」で行う！  
あの「ハゲタカ」の人気作家真山仁さんの特別講演も決定！

5月15日(日)の予定を☑

明けましておめでとうござい  
ます。早速ですが、スケジュール  
のチェックをお願いします。5  
月15日の日曜日の午後は、ぜひ  
「同志社東京 春の集い」のため  
に開けておいてください。

もうすっかり定着した感があ  
りますが、改めてご案内させて  
いただきますと、「同志社 春の  
集い」は、今年で18回目。昨年  
は600名を超える参加者を得  
て、ロイヤルパークホテルの大



「2015春の集い」の鏡開き



真山 仁さん 昭和 62 年法学部卒

会場は熱気に包まれました。  
その熱気を受け継ぐべく、今  
年の実行委員会（同志社大学の  
昭和47年卒・57年卒・平成4年  
卒・14年卒のグループで構成）  
は、大いに張り切って様々な準  
備を進めています。  
毎年、この催しには、それぞ  
れテーマが掲げられますが、ち  
なみに昨年の場合には「同志社オ  
ン マイ マインド」。これを受  
けて、今年のテーマは「オール同  
志社」。つまり、学校法人同志社  
／同志社大学、同志社女子大学、  
同志社中学校・高等学校、同志  
社香里中学校・高等学校、同志  
社女子中学校・高等学校、同志  
社国際中学校・高等学校、同志  
社小学校、同志社国際学院初等  
部・国際部、同志社幼稚園に学  
んだすべての人々の「集い」に

しようというわけです。  
ぜひ、首都圏の「同志社人」の  
集いにご参集ください！

## 新学長と人気作家の講演を

会の流れを恒例に従って紹介  
しておきましょう。

●開場は12時。13時からの第一  
部開始までの間に「名刺交換  
会」。第一部はクローバークラブ  
によるカレッジソング、同志社  
大学歌、開会祈禱、賛美歌斉唱、  
会長挨拶、来賓挨拶。こうした  
催しでは東都初お目見えとなる  
新学長・松岡敬先生のス  
ピーチ。

●第二部は、例年、「春  
の集い」の呼び物となっ  
ている「校友の講演」で、  
今回は、あの「ハゲタカ」  
シリーズでおなじみの経  
済小説の第一人者真山仁  
さんに決定！ ちようど  
昨秋11月から週刊ダイヤ  
モンドで「ハゲタカ」シ  
リーズ第5弾が始まった  
ばかり。人気作家の登場  
に「待ってました！」の  
声がかかりそうです。

真山仁さんは大阪府生  
まれで、昭和62年に法学  
部政治学科を卒業した校

友です（詳しいプロフィールは、  
のちほど告知情報などで）。著書  
販売サイン会も予定。

●第三部は、大懇親会。立食ブッ  
フェでテーブルは各年代別。「異  
業種交流タイム」「応援団演舞」  
なども企画されています。

\*詳細情報は、後ほど「春の集  
い」案内状などでお知らせいた  
します。また東京校友会ホーム  
ページでも情報をご覧いただけ  
ます。「同志社東京校友会」で検  
索をお願いします。  
(文責:「春の集い」実行委員会)



2015 春の集い第三部の華、応援団の演舞

家族葬から社葬・お別れの会まで、  
信頼の葬祭ブランド「公益社」におまかせください。



KOEKISHA

株式会社 公益社 ネットワーク 東京・横浜・大阪・兵庫・奈良  
東証一部上場 燦ホールディングスグループ

まずはお電話を。公益社 ご葬儀相談センター(24時間・365日受付)

さよならのこころ

☎0120-347-556

http://www.koekisha.co.jp

通話料無料・携帯電話可

## 首都圏ネットワーク(自社会館・営業所)

◆東京本社(港区南青山 1-1-1 新青山ビル西館 14F)

会館

- 公益社 用賀会館 ●公益社 高円寺会館
- 公益社 明大前会館 ●公益社 仙川会館
- 公益社 田園調布会館 ●公益社 雪谷会館
- 公益社 高輪会館 ●公益社会館 たまプラーザ

営業所

■青山ご葬儀相談室 ■日吉営業所 ■鶴見営業所

※上記を中心に300ヶ所以上の葬儀場がご利用になります。

対応地域

首都圏(東京・神奈川・千葉・埼玉)  
近畿圏(大阪・兵庫・奈良)

はりしまさのぶ  
燦ホールディングス(株) 取締役相談役 播島 幹長 (昭和33年 経済学部卒業)

おがわよしひで  
公益社 法人営業推進部 部長 小川 佳秀 (昭和50年 経済学部卒業)

【日時】

2015年2月25日(木)18時

【場所】

同志社大学東京オフィス

【議題】

(報告事項)

①2015年度活動報告

②会計報告・会計監査報告

③その他

(審議事項)

①第1号議案

2015年活動計画案

②第2号議案

収支予算案

③その他

※出席希望される方は、2月19

日(金)までに事務局までご連絡下さい。

電話03・5579・9728

FAX03・5579・9729

京都市主催「京あるきin東京」大学の講座 3月4日ご案内

京都市は2011年より東京都内各所で京都の魅力を伝えるイベント「京あるきin東京」を開催しています。同志社大学をはじめ都内に拠点を持つ京都の大学は特別講座の提供を通じてイベントに参加しています。

【京都の大学による特別講座】

(要申込み・受講無料)

日時：2016年3月4日(金)

12時30分から14時(90分)

会場：京都造形芸術大学・東北芸術工科大学 外苑キャンパス

港区北青山1-7-15

講師：文学部国文学科教授

岩坪 健(いわつぼ たけし)

タイトル：「源氏物語と冷泉家」

参加には、事前に専用HPもしくは事務局にハガキで申込みが

必要です。専用サイトがオープンされれば東京校友会HP等でご案内をいたします。

鎌倉時代から続く和歌の家、冷泉家と源氏物語とは深い関係があります。今出川キャンパスお隣の冷泉家のお話も聞ける機会になるでしょう。

文責／安永昌代(昭56年・経)

編集後記

2016年がはじまりました。

昨年は記念すべき100号を発行することが出来ましたが、25年間永々と発行し続けることが出来たのも、東京ニュースの初代編集長西村四郎様の熱き想いを引き継いだ歴代の編集者、またそれを支えられた校友の協力によるものと感謝せざるを得ません。続く101号を

創刊100号突破記念特大号として、初めて24ページの永久保存版を発行出来ましたことは編集人として喜ばしい限りです。

また昨年は同志社創立140周年記念行事として、8月に「同志社フェアin安中」が新島襄ゆかりの地安中で開催され、全国から300名の校友が新島学園礼拝堂に集いました。

新島襄は帰国後横浜から一路両親の待つ安中に向かい、帰国第一声をこの地で放ち、キリスト教宣教活動を開始したのでした。襄の想いは、この地に多くの信者を得られたことだけでなく、安中教会や新島学園に受け継がれているのです。

さて、私はこの数年東京ジャーナルの編集委員として、また2年前からは編集長として携わって参りましたが、この度東京ニュース発行当初から編集に関わってこられた新田博伸常任幹事に次号から編集長をお願いすることになりました。

今後とも校友の皆様の大きな支えをお願いするとともに、2年間援助いただいた皆様に心より御礼申し上げ、最後の編集後記とさせていただきます。

文責／片桐 陽(昭42年・工)

すみれ亭 昭和38年会俳句会  
村歌舞伎見得極りたるお軽かな

平野 豊嗣

「色に耽つたばっかりにお前を連れて都落ち」、「何を言わんす。例え地獄の果てまでも従って行くわお前さん」、そこで百姓のお軽はきつと空の彼方へ大見得を切る。間髪を入れず「お夏ちゃん」と声がかかり、おひねりの雨。農繁期が終わって全国で演じられた村芝居、ここでは『お軽三平』。懐かしい場面を見事一句にスナップした。季語は「村歌舞伎」「地芝居」。

(選評・あかぎ俵鳥)

**DOSHISHA TOKYO JOURNAL**  
 2016.January. NO.102 同志社東京校友会  
 〒101-0047 東京都千代田区区内神田 3-22-7 大平ビル6階  
 電話：03-5579-9728  
 FAX：03-5579-9729  
 発行人 / 児玉正之  
 編集人 / 片桐 陽  
 印刷 / 株式会社スパルグラフィック  
<http://www.doshisha-tokyo-alumni.jp>  
[mail:office@doshisha-tokyo-alumni.jp](mailto:office@doshisha-tokyo-alumni.jp)  
 HP 会員ページ  
 ログイン情報 ID=doshisha  
 PASS=1875

**DAIKIN**

世界中でつくります。なかった空気。できなかった空気。

国が違えば、暮らしが違えば、欲しい空気も違うはず。ダイキンは最新の空調技術で、その全てに応えたい。

ダイキン工業株式会社